

最後の提案授業です

いよいよ最後の分科会提案授業になりました。運動会から引き続き展覧会に向けて忙しい中ですが、先生方には研究授業の準備や日々の実践の記録などにご協力いただき、ありがとうございます。今年度の研究の成果や課題をまとめる時期に入りますので、各学年の児童の変容や実践内容などを改めて確認していただきますよう、よろしくお願いいたします。

1 11月30日（水）高学年分科会研究授業の役割分担

	授業学年	授業記録 記録写真	協議会準備 司会・記録	協議会グループ作成・ 周知
11月30日（水）	高学年（6年）・算数	6組	低学年	中学年

2 高学年分科会「データの持ちょうを調べて判断しよう」

<授業デザイン注目ポイントは、習熟度別の手立て！>

- ・教材教具の工夫 …既習事項の掲示を充実させることで、安心して取り組める環境をつくる。
- ・既習事項の復習の繰り返し…毎時間既習事項を提示し、覚えづらい言葉や意味を繰り返し確認する。
- ・考えを整理する手立て …同じ発問でも、習熟度によって考える人数や手立て（話し合う・文で表すなど）を変えている。
- ・伝え合いの方法 …ぐんぐん・どどんコースではスクールタクトの閲覧・共有機能を活用する。しっかり・じっくりコースでは提示する情報を限定し、考え方や意見の書き表し方を全体で確認することで自分の考えをもち、友達と伝え合えるようにする。

↓ 参観の視点は、以下の二点です ↓

- ・交流場面の設定を工夫することで、児童が自分の考えをもち、友達の考えを受け止められたか。
- ・習熟度別の手立て（スクールタクトの使用や情報の提示など）は、児童が学習内容を理解するために有効であったか。

今回の授業は、4展開のどのコースも自由に参観できるようになりました。同じ発問でも一人で考えるコースがあったり、教師がファシリテーターとして児童の意見をまとめる話し合いのコースがあったりと、習熟度に合った手立てを考え実践してくださっています。また、スクールタクトの活用などICTの積極的な活用も見どころの一つです。今回の実践のどのような部分を各学年の少人数算数に取り入れていけるか、活発な協議会にしていければと思います。よろしくお願いいたします！

